

平成30年度 学校生活相談センターの相談状況について(12月末現在)

心の支援課

◆件数・回数 of 同期比較◆

	前年度 H29年度(～12月末)		本年度 H30年度(～12月末)	
相談件数	564件	→	607件	(43件増)
延べ回数	791回	→	1018回	(227回増)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	263	43.3%	417	40.9%
	夜間・休日	281	46.3%	455	44.7%
文書 (メール・FAX・手紙)	63	10.4%	131	12.9%	
来所	0	0.0%	15	1.5%	
計	607	100.0%	1018	100.0%	

・前年度同期と比較すると、昼間・夜間ともに増加傾向にあり、相談件数は1割弱、延べ回数は3割弱増加している。

・来所相談は、電話相談の後に来所相談を希望するケースが多いため、延べ回数のみ15件となっている。

2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
相談者から連携希望があった案件	44	7.2%	79	7.8%
傾聴を主とした案件	563	92.8%	939	92.2%
計	607	100.0%	1018	100.0%

主な連携先

小中学校 … 33件
 県立高校 … 24件
 県教育委員会他課 … 7件
 教育事務所 … 10件
 市町村教育委員会 … 3件

私学振興課 … 0件
 こども・家庭課 … 0件
 児童相談所 … 0件
 子ども支援センター … 0件

3 月別相談件数

区分	件数	割合	延べ回数	割合
4月	52	8.6%	75	7.4%
5月	79	13.0%	109	10.7%
6月	73	12.0%	123	12.1%
7月	79	13.0%	141	13.8%
8月	65	10.7%	116	11.4%
9月	63	10.4%	113	11.1%
10月	81	13.3%	136	13.4%
11月	63	10.4%	112	11.0%
12月	52	8.6%	93	9.1%
1月	0	0.0%	0	0.0%
2月	0	0.0%	0	0.0%
3月	0	0.0%	0	0.0%
計	607	100.0%	1018	100.0%

4 相談者の状況

(1) 主訴(相談者全体)

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	73	12.0%	91	8.9%
	不登校・登校渋り	64	10.5%	105	10.3%
	その他	132	21.8%	209	20.6%
学校・教師に関すること		197	32.5%	339	33.3%
家庭・私生活に関すること		61	10.0%	170	16.7%
意見・問い合わせ		56	9.2%	66	6.5%
その他		24	4.0%	38	3.7%
計		607	100.0%	1018	100.0%

(2) 主訴(子どものみ)

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	27	12.1%	34	9.7%
	不登校・登校渋り	6	2.7%	13	3.7%
	その他	91	40.8%	149	42.7%
学校・教師に関すること		42	18.8%	76	21.8%
家庭・私生活に関すること		26	11.7%	36	10.3%
意見・問い合わせ		15	6.7%	17	4.9%
その他		16	7.2%	24	6.9%
計		223	100.0%	349	100.0%

(3) 相談者の内訳

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども		223	36.7%	349	34.3%
本人		223	36.7%	349	34.3%
本人以外の子ども		0	0.0%	0	0.0%
大人		374	61.6%	659	64.7%
父		48	7.9%	65	6.4%
母		282	46.5%	535	52.5%
祖父		5	0.8%	6	0.6%
祖母		12	2.0%	19	1.9%
その他の大人		27	4.4%	34	3.3%
不明		10	1.7%	10	1.0%
計		607	100.0%	1018	100.0%

・関係機関に連携した案件は、学校・教師の対応についての案件が目立つ。
 ・前年度同期と比べ、子どもからの相談は若干減少傾向にある(延べ回数の割合-5.0%)。

5 相談対象者の状況

(1) 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	263	43.3%	488	47.9%
女	293	48.3%	467	45.9%
不明	51	8.4%	63	6.2%
計	607	100.0%	1018	100.0%

(2) 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	5	0.8%	5	0.5%
小学生(低学年)	52	8.6%	79	7.8%
小学生(高学年)	88	14.5%	151	14.8%
中学生	169	27.8%	308	30.3%
高校生	231	38.1%	405	39.8%
その他	24	3.9%	24	2.3%
不明	38	6.3%	46	4.5%
計	607	100.0%	1018	100.0%

(3) 学校の所在地域

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
北信	150	24.7%	395	38.8%
東信	51	8.4%	76	7.5%
中信	63	10.4%	99	9.7%
南信	54	8.9%	114	11.2%
その他	2	0.3%	2	0.2%
不明	287	47.3%	332	32.6%
計	607	100.0%	1018	100.0%

・相談対象者は、件数では女子の割合が5%高いが、延べ回数を見ると男子の割合が若干多い。これは、男子児童生徒を持つ保護者からの相談が、やや継続しやすい傾向にあることが影響している。

・前年度同期に比べ、相談対象者に占める高校生の割合が増加傾向にある(相談件数+5.8%、延べ回数+4.9%)。

12月メモ

・依然、前年度同期を上回るペースで相談件数、延べ回数ともに増えている。相談件数に関しては、前年度1月末の件数、延べ回数に関しては前年度3月末の回数とほぼ同じである。

・12月の相談の主訴を見ると、心身の疾患・障害についての相談が比較的多くあった。他にも、教師の暴言・不適切な指導への生徒本人からの相談も目立ち、必要に応じて関係機関と連携しながら対応してきた。

・個別懇談会の時期でもあったせいか、相談者自身が学校に相談してみるという流れで終話となる相談が多く、他の月に比べ、当センターから学校等に連携する案件は少なかった。